

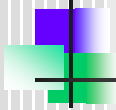
## SOAガイド

2006年12月11日

SOA部会  
SOAガイドWG  
(株)JIEC 坂下 秀彦

## メンバー一覧

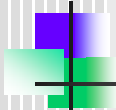
- メンバー(五十音順)
  - 倉沢 良明 キヤノン(株)
  - 坂下 秀彦 (株)JIEC
  - 鈴木 豊彦 日本システムウェア(株)
  - 田村真一郎 沖電気工業(株)
  - 中村 知義 (株)ジャステック
  - 根本 和郎 日本アイ・ピー・エム(株)
  - 萩原 康至 (株)JIEC
  - 星川 恭子 沖電気工業(株)
  - 森本 信次 日本オラクル(株)
  - 横田 治樹 NECソフト(株)



## 本日の内容



- 活動の中間報告
  - 今期我々が何をしようとしているのか、そして現時点でどこまで出来ているのか、をご紹介します。

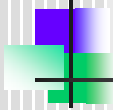


## SOAガイド



- 当タスクチームの目指すところ
  - 目的: SOAに対する共通認識の確立
    - ユーザー、ベンダー毎にSOAの捉え方はまだまだまちまちです。微妙に異なる認識の差異をなくすることができないか。我々でそこにある一定の尺度を設定しようというのが、今期の研究テーマです。
  - 目標: その為のガイドの作成

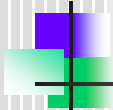




## 本ガイドの対象者は？



- システム構築に関わるユーザー、ベンダー、SIer全てのステークホルダーを対象とする
  - ベンダーは、製品を売る人、開発する人の両方



## ガイド作成の流れ



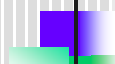
- ユーザーのSOAの捉え方の調査
- ベンダーのSOAの捉え方の調査
- 以上の整理、統合、集約
- 我々の設定した尺度(着目した点)でまとめる

## 現在の進捗



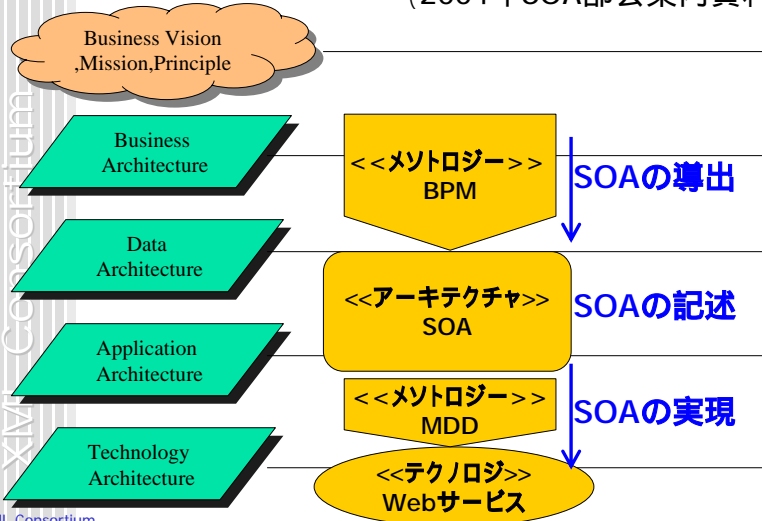
- ユーザーのSOAの捉え方の調査
  - EAで言うところのSOAとは・・・、実は言っていないらしい
  - 先進企業では「定義」から「実装」の段階へ
    - 従業員数2000人以上の企業では10%の企業が適用済み、または1年以内に適用予定。内容を理解している：35%以上。(出典：Gartner, 2006)
- ベンダーのSOAの捉え方の調査
  - SOA成熟度モデル
  - SOA構築ステップ、構築ロードマップ、リファレンス・アーキテクチャ等
- 以上の整理、統合、集約
  - 言っていることは微妙に違って、最低限合意している部分はあるはず
  - または、違って部分に着目して議論しても面白いかも
- 我々の設定した尺度(着目した点)でまとめる

## 当部会でのSOAの定義



- システムを、業務視点の機能(サービス)の集合と捉え、ビジネス環境の変化に対して、迅速にサービスを組み換えることで柔軟に対応するシステム構築方針
  - アプリケーションをラップしてサービスにする
  - 外からはサービスのインタフェースのみを意識する
  - サービス自体の実装には依らない
  - インフォメーションパス(ネットワーク)にサービスをプラグインして統合を実現する
- (2004年SOA部会案内資料より)

(2004年SOA部会案内資料より)



## 例えば、IBM SOMAでは

- IBM はSOA を以下の3つの文脈で定義している
  - 1. **ビジネス** - SOA はビジネスを顧客やパートナー、あるいは組織の他の部署に公開する一連のサービスである。
  - 2. **アーキテクチャ** - SOA はサービスプロバイダ、リクエスタ、サービス記述を必要とするアーキテクチャスタイルである。さらに、モジュール性、カプセル化、疎結合、関心事の分離、再利用、構成可能性、単一実装のような特性を扱う、一連のアーキテクチャ原則、パターン、基準でもある。
  - 3. **実装** - SOA はWeb サービスのような標準、ツール、技術を備えたプログラミングモデルである。

SOMA: Service Oriented Modeling Architecture

出典:「参照アーキテクチャ調査報告(2005年度)」ITスキル標準プロフェッショナルコミュニティ ITアーキテクト委員会

# SOA成熟度モデル(MM)



新しいサービス指向アーキテクチャ(SOA)成熟度モデルのレベル



図1: SOA成熟度モデル

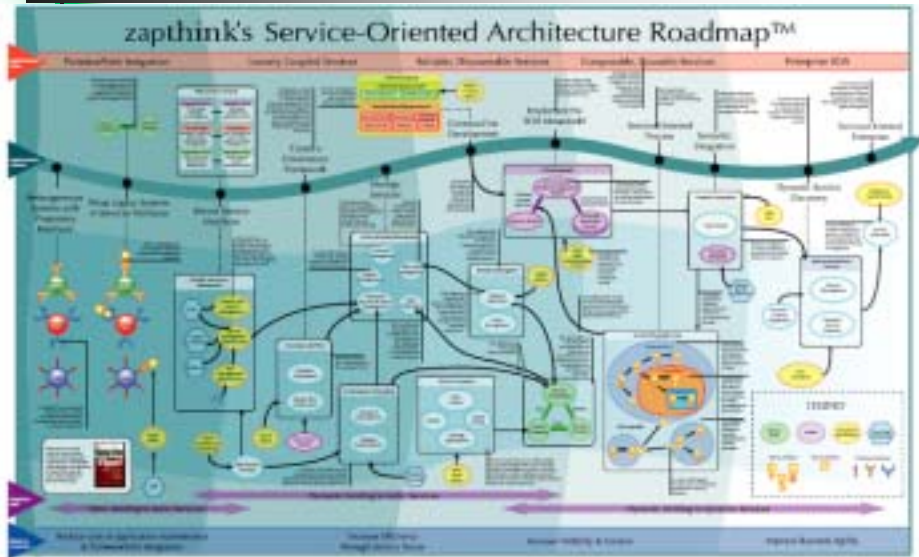
成熟度レベル	最も重要な活動と上上のプロセス	機能	技術的基盤/技術	標準/規格/フレームワーク	測定/評価
1. サービス初期	単一の機能とプロセス	単一の機能、プロセス	単一の機能、プロセス	単一の機能、プロセス	単一の機能、プロセス
2. サービス設計	プロセスの設計と実装	プロセスの設計と実装	プロセスの設計と実装	プロセスの設計と実装	プロセスの設計と実装
3a. ビジネスサービス	ビジネスサービスの設計と実装	ビジネスサービスの設計と実装	ビジネスサービスの設計と実装	ビジネスサービスの設計と実装	ビジネスサービスの設計と実装
3b. コラボレーティブサービス	コラボレーティブサービスの設計と実装	コラボレーティブサービスの設計と実装	コラボレーティブサービスの設計と実装	コラボレーティブサービスの設計と実装	コラボレーティブサービスの設計と実装
4. ビジネスサービスの最適化	ビジネスサービスの最適化	ビジネスサービスの最適化	ビジネスサービスの最適化	ビジネスサービスの最適化	ビジネスサービスの最適化
5. ビジネスサービスの変革	ビジネスサービスの変革	ビジネスサービスの変革	ビジネスサービスの変革	ビジネスサービスの変革	ビジネスサービスの変革

# SOA成熟度モデル(MM)



- 「新しいサービス指向アーキテクチャ(SOA)成熟度モデル」 (Sonic Software)
- SOA成熟度モデルは、SOA導入の目標を提供するとともに、SOAが企業にもたらしうる段階的なプラス効果を示します。
- レベルはCMMIの5段階レベルを参考に。
- 5つのレベルとは、初期サービス、サービスの設計、ビジネスサービスとコラボレーティブサービス(レベル3ではこの2つの異なる要素に対応)、ビジネスサービスの測定、ビジネスサービスの最適化。
- 当モデルは、ソニックソフトウェア、Systinet、AmberPoint、BearingPointの協業により作成された。

## zaphink's SOA Roadmap



© XML Consortium

< 配布資料にはございません >

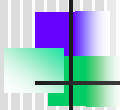
13

## SOA Implementation Phase



- Point-to-Point Integration
- Loosely coupled Services
- Reliable, Discoverable Services
- Composable, Reusable Services
- Enterprise SOA

zaphink's SOA Roadmapより

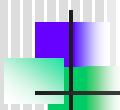


# SOAガイドの方向性



XML Consortium

- 考察
  - アーキテクチャという言葉がついていることから分かるように、ベンダーからは構築の指針といった説明が多い。
    - そこから、だから弊社の製品でSOAを構築しましょう・・・に陥りがち。
  - SOAでは「ビジネスとITが密接に連携」している為、ユーザーはIT側に難しさを感じ、技術屋はビジネス側に分からなさを感じる。そこが、SOAってよくわからない・・・を生んでいるのでは。
  - 違う言葉を使っているが、よくよく見ると同じことを言っていたりする。
  - 時として、SOA = 新しいシステムを作ることが目的になってしまう場合も。
- そもそも、「SOAの目的はビジネスとITの融合」ということを考慮すると、ビジネス・アーキテクチャ・実装という多面的な視点からの分析が必要(重要)ではないか。
  - そしてSOAを語る時は、どの視点で述べるのかをまず宣言しよう



# 以上をこんな形に整理中！ (まだまだ試行錯誤しています)

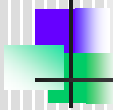


レベル	CMMI	SOA成熟度モデルのレベル	ビジネス(重要なビジネス効果)	アーキテクチャ	実装	
					選択された標準	
5	最適化段階	ビジネスサービスの最適化	ビジネスの最適化 自動的に反応、応答			
4	定量的管理段階	ビジネスサービスの測定	受動的ビジネスからリアルタイムビジネスへの転換、ビジネスパフォーマンスの達成			
3	定義段階	コラボレーティブサービス	ビジネスの応答性 ビジネスパートナー、取引パートナーとのコラボレーション			RosettaNet, ebXML, WS-Trust
		ビジネスサービス	ビジネスの応答性 迅速かつ効果的なビジネスプロセスの変更			WS-BPEL
2	管理段階	サービスの設計	費用対効果(ITコストの削減と制御)	サービスレジストリ		UDDI, WS-ReliableMessaging, WS-Policy, WS-Addressing, XQuery, WS-Security, SAML
1	実践段階	サービス初期	新しい機能	業界標準, ESB	レガシーシステム統合	XML, XSLT, WSDL, SOAP, Java, .NET

「新しいサービス指向アーキテクチャ(SOA)成熟度モデル」(Sonic Software)より引用・再整理

XML Consortium

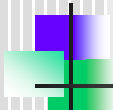




## まとめ



- XMLコンソーシアムWeekをターゲットに、「SOAガイド」鋭意製作中
- どんなものができるか、一抹の不安も…。
- ぜひ、一緒に。参加者募集中！



## 資料



- 新しいサービス指向アーキテクチャ(SOA)成熟度モデル, Sonic Software
- zapthink's Service-Oriented Architecture Roadmap, ZapThink
- OASIS Reference Model for SOA V1.0, OASIS
- 「SOA実践ガイドブック」, Norbert Bieberstein他著, 2006, 翔泳社
- 「参照アーキテクチャ調査報告(2005年度)」, ITスキル標準プロフェッショナルコミュニティ ITアーキテクト委員会, 2006, IPA
- 「SOAリファレンス・アーキテクチャ」, webMethods, 2006